

# 京城日報

刊六日六廿

## ●獨逸にて歓迎せしめ

米國通譯に對し新聞紙の攻撃  
獨逸は米國通譯に對し新聞紙の攻撃を  
攻撃し、獨逸の如きは受諾の限りに非ずと言へり  
カウラック及びクルップの機關銃は右の通譯を以て英國の爲めに  
有利なる講和を結ばん事を目的として英米兩國  
の目論める豫定の行動なりと云ふ也(倫敦電報)

## ●佛國は疑惑を以て迎ふ

佛國公使はワシントン氏の通譯を疑惑と  
不審を以て迎ふなり佛國の目的は米國の保障に  
不審を以て迎ふなり(倫敦電報)

## ●佛國陸相の新任

佛國陸相は新任に任ぜられ(倫敦電報)

## ●聯合國回答明年か

聯合國の回答は明年に於て(倫敦電報)

## ●瑞西の講和斡旋

瑞西の講和斡旋は進行中(倫敦電報)

## ●佛國陸相の新任

佛國陸相は新任に任ぜられ(倫敦電報)

## ●エラリツシウ奪還の價值

エラリツシウの奪還は英軍の價値  
エラリツシウの奪還は英軍の價値を  
奪還は此の方面の交戦時期の初期に於ける重要  
なる成功なり何れに依りて埃及及びスエズ運河は固く英  
國の所有なることを示したるなり(倫敦電報)

## ●鄭家屯事件交渉

鄭家屯事件の交渉は進行中(倫敦電報)

## ●五國財團組織變更協議

五國財團組織の變更は協議中(倫敦電報)

## ●露行小包停止

露行小包の停止は決定(倫敦電報)

## ●莫小禁輪解除

莫小禁輪の解除は決定(倫敦電報)

## ●山縣元帥入京

山縣元帥は入京し(東京電報)

## ●實業家招待

實業家の招待は決定(東京電報)

## ●終業と拜賀式

終業と拜賀式は決定(東京電報)

## ●獨逸の所爲か

獨逸の所爲は如何(東京電報)

## ●間島鮮人の改善

間島鮮人の改善は決定(東京電報)

## ●人気が昂る

人気が昂るは如何(東京電報)

## ●大邸と補助貨

大邸と補助貨は如何(東京電報)

## ●平壤の補助貨

平壤の補助貨は如何(東京電報)

## ●井内氏出發

井内氏の出發は如何(東京電報)

## ●外務課長張

外務課長張は如何(東京電報)

## ●立花中將動靜

立花中將の動靜は如何(東京電報)

## ●阿片密輸検査

阿片密輸の検査は如何(東京電報)

## ●大連の滞貨量

大連の滞貨量は如何(東京電報)

## ●熱田丸歸著期

熱田丸の歸著期は如何(東京電報)

## ●露領酒密輸

露領酒の密輸は如何(東京電報)

## ●通信課の忘年会

通信課の忘年会は如何(東京電報)

## ●露領酒密輸

露領酒の密輸は如何(東京電報)

## ●熱田丸歸著期

熱田丸の歸著期は如何(東京電報)

## ●通信課の忘年会

通信課の忘年会は如何(東京電報)

## ●露領酒密輸

露領酒の密輸は如何(東京電報)

## ●熱田丸歸著期

熱田丸の歸著期は如何(東京電報)

## ●通信課の忘年会

通信課の忘年会は如何(東京電報)

### 告京城分會員

京城分會員の公告

### 御進物用

御進物用の公告

### 勅題新年菓

勅題新年菓の公告

### 勸引券進呈

勸引券進呈の公告

### 勸引券進呈

勸引券進呈の公告

### 勸引券進呈

勸引券進呈の公告

### 勸引券進呈

勸引券進呈の公告

### 勸引券進呈

勸引券進呈の公告

### 勸引券進呈

勸引券進呈の公告

### 勸引券進呈

勸引券進呈の公告

### 勸引券進呈

勸引券進呈の公告

### 勸引券進呈

勸引券進呈の公告

### 勸引券進呈

勸引券進呈の公告

### 勸引券進呈

勸引券進呈の公告

### 勸引券進呈

勸引券進呈の公告

### 勸引券進呈

勸引券進呈の公告

### 勸引券進呈

勸引券進呈の公告

### 勸引券進呈

勸引券進呈の公告

### 勸引券進呈

勸引券進呈の公告

### 勸引券進呈

勸引券進呈の公告

### 勸引券進呈

勸引券進呈の公告

### 勸引券進呈

勸引券進呈の公告

### 勸引券進呈

勸引券進呈の公告

### 勸引券進呈

勸引券進呈の公告



釣銭が無くて困つて居るどころ

につれて各地方共日常の取引から生ずる種々の事實を柄にとつて小袋拂底の叫びは益々烈しさを加へて来た釣銭が無いとて電車から降車を迫られる者車賃が無くて汽車に乗り遅れたもの釣銭を拂ひ盡して集金を充分にする事が出来なかつたもの又

◆補助貨の流入は一般の取引に大なる影響を與へる事だらう尙ほ朝鮮銀行では引續き十萬圓を請求してゐるが之れが還送されるのは未定となるであらう

せいれんしやうかう  
●青年將校

咽喉を突いて

室を開けたるに中尉が小刀

進行中の電車が一組人を轢き殺し

ある今回の寒気は、かんき 廣州朝鮮一帯に、まんしゅうしんぞう 波及するかも知れない。はくしやするかもしれない

烈寒來る

原因は二十四日迄朝

いが然うでもないものは午後に成  
は一日三回宛見廻つて歩いて

美奈の懸望に茂永の市中にも風の響かむに其の響かぬが如し

反 鴉 丸 坐

百餘名を空しく見殺の外無き惣家の

市民の懲戒を要する  
の炭火から十二月二

**三千圓の横領**

忠清南道天安郡成安面牛新里申泰壽  
○氏は、蔚陽郡漢江面漢江里米穀商林光先の所に係る中、市子山那婆仁面に所在の初五百四十石、二千九百七十圓一名仁事連運方を依頼され十一の月間に延べしたるものにして附各消防隊出動したるも幸に鎮火後りしが何分京城目抜の場所柄だけに一時は非常の混雑を來したり尤も設けある切盛に炎が變りに接近し、既に家人が就寝したる爲め附に散亂せる鰐屑が落ち込みて薪間に燃え上つたものにして附

下敷板及び板壁約一坪を焼毀し

民國十一年一月十五日

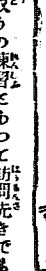
車馬交通杜絕

掠奪されたるに依り濟南府領事

各が居つても所國はす暇がな隙が

處に居合せた喜久家

といふ事になつたやうな



定價五  
郵費

**大正改司史論**  
 總クロース製  
 布版四三〇頁  
 定價四角

**友社**  
 發行所  
 東京市橋本區日吉町  
 電話一三一〇  
 振替東京三〇番

**大賣捌所**  
 東京市橋本區日吉町  
 電話一三一〇  
 振替東京三〇番

**蘇峰學人著 最新刊**  
**京城日報代理部**

大正町史談

朝  
鮮  
金  
剛  
業  
業  
要

思魚之用也。黃、三

朝鮮名勝詩選

（今回五百部を限り特

地理沿革傳説等に至る迄之を興  
の光輝を生ず燈火親む可き季節

眞捌元  
京大市通一丁目  
板橋三〇〇番  
京城

10

西の晴れ曇り  
時一曇り  
十曆四〇日五七時四十七分  
六時五十四分







## 田邊南龍口演

A black and white illustration of a man in traditional Chinese robes sitting on a stool, with a woman standing to his right. The man is balding with a small mustache, wearing a long robe with a decorative sash. The woman is seen from the side, wearing a dark dress with a circular emblem. The background is a textured, mottled grey.

[illegible][illegible]

櫻井町 電話八七三 大正

[illegible]

佐賀縣三養井郡基里村  
 結核專門（血代門四丁）  
 古賀病院  
 醫學博士 古賀玄三郎 診察

秩父錦仙  
 牛かくり賣出し  
 正月のお仕度にも  
 實用で萬人間の  
 喜まつたり  
 無用客用にも  
 喜まつたり  
 秩父錦仙  
 牛かくり賣出し  
 正月のお仕度にも  
 實用で萬人間の  
 喜まつたり  
 無用客用にも  
 喜まつたり

町田野國總下  
造釀門衛右郎七木茂  
店約特  
目丁一町治明  
商野  
番三五二話電

損の中年はる誤を擇撰の油醬  
油醬クハキ品絶の一唯東關へ給み試  
石千二萬六額年りた冠に國全高造釀  
りけ基に力買購の大最是高造釀の大最  
證實の越優質品は力買購の大最



(定価 金二十銭 金五十銭)

## 御園四季の花

白粉を美しく附けるには、常に土臺の地肌を整へて置く事が必要です。化粧水御園四季の花は此點に別段の効能があります。即ち洗面後入浴後に用ひて、皮膚を柔軟に肌理を整へ、色艶を麗しく、肌荒れ一切を防ぐに無類の化粧料です。

元 賣 發
鋪 本

店 商 屋 見 丸
園 蝶 胡 東 伊

味噌の  
横網  
ほまれの  
みそ

東京で一番美人化粧料はホーカ液

本品は長くも宮内省御買上の光榮を有し衛生面にて名譽金牌を受領し到る處の信用ある、小間物店雜貨店にて一掃多く買れる美人顔なり

歳の暮  
年の始

斯く美しと清らかに  
斯く賑しく幸あれと

贈りませや

森永の菓子

御進物用 大小 二種

ミルクキヤネムル

御進物用 一箱 500 円

御進物用 大小 二種

森永ゼリピンズ

スポンジメキスト

5-30

森永製菓株式会社



講和問題と  
經濟界

を與ふるとは、自ら限り、  
に、戦争の長引くことが、必ずし  
般の経済界に有利有益なりとは

▽ 三江里鑛山  
鑛業の現況  
(五)

て總延長七千八百三十三尺なり、採鑛  
場は大正二年七月工事に著手し十月  
未落成し十二月より始業したりしが

此戰爭を一意に抜引がしめたる  
固より暴れるも開戦の目的な

速すして此の戦争中途に終想せしめんとして、  
亦斷じて罪惡の責を受けることなき

要綱に之を判斷了解することが出  
 る、英國民は首相の演説に對しては  
 満足の意を表して居る

加姿堂  
年

に決す解散歴然小久保七立憲

人事を要望す  
官小原新三

● 第五十號

既に過度に騰貴したるものは、  
 其かの機會を以て下落すべきは理  
 當然なることにして、最近の  
 下落の一原因は正しく此にあり  
 られども日本及び米國市場、誤  
 議の爲めに大暴落を來せる他の  
 最大原因は、常業者は將  
 來に於て儲か得べき奇利を得  
 るに至ることを豫期するに  
 米國政府當局者及び農家は  
 商賣の爲めに資本を投じ、事業  
 を並進するとを抑制するに力めれ  
 る人心利に趨くは水の下に就く  
 べきものあり。今月にては米國に  
 軍事投資亦既に夥多なるあ  
 り是等は講和の時期の方に至れり  
 是等は是れは大打撃を感ぜざるを得ず  
 是れは何の時にか終結せざるべから  
 ず此種の企業は、一度は其の終  
 末に到達するのを避くべからずと  
 其の早急は明かに必要の缺乏

大正の青年と帝國

(三)

十二月に於て

五、近時最も憂ふべきは、國民の一部  
陸海軍を憎むる念慮なり。陸海  
とは如何、自家の陸軍なう、家に  
陸海軍なくんば劫盜相繼で入るべし。國  
陸海軍なくんば、何に因つて外侮  
線がなんや。是を憤む者論議淺深な  
其多くは云よ、陸海各機關あり  
廟を揺す。宜し之を懲も可なり、何  
れば、宜し之を懲も可なり、何  
るは、既に色あるが如し、赤色を  
白壁となさば可なり。亦壁を除かんとす  
好まざるが故に隣壁を除かんとす  
は、其理の存する所を知らず。或  
は、其理の存する所を知らず。或  
艦瀬く大なるは、文櫓を  
之を反せば文櫓濺ぐ大なる  
武權を著す。事兩り非なり。圓  
あり、律あり、決して離絶を許さ

の前途を讀む

大谷 光瑞

なご一顧なり。今日滔々青年を以て、しめつゝある思想は、概ね歐米の思想なり。歐洲此の非軍備論、無事に非ず、然れども孰れの政治問題はず、この思想の爲軍備を維持せし事なし。唯其能に總意あり。我輩國爲三、實の軍國主義を破るの今日、軍國主義を破るは、獨以上の軍國主義と云ふれば不可なり。今の世は幾時代に非ず、三千年成敗を経て、服する如きは能はず。故に大に起るや、舉國武を練り、以て是を服する。是迄に遇て、繼を續るらんぞ。是迄に遇て、繼を續る。然れども近稍々觀を續る。歐米の諸國少し生色あり、軍國主義に博しし。即にして、私欲を實現せし。即にして、私欲を實現せし。

能はずて、却て羅馬尼を放棄せん  
とす。若其れ、千年以前、英佛をして、  
決しての軍國主義の決心せしむれば、  
決して獨りなりて、跳然せしむる能は  
ざりしなり。往年、薩洛哥の問懸起る  
や、危機正に迫りたり。此時爲未だ輪  
成らず、故に隱忍せり。英佛は此の  
機に當り、戰機を改め、大決心  
を爲さば、今日の戰禍は生ぜざりし  
ならん。軍備擴張は、重擔なり、然  
れども二年の大戦を以てせば、二十  
年の養を養ふべく、二年の大戦以  
てせば、五十年を養ふべし。現今國  
家の存亡未だ知るべからず。軍備  
擴張は、平和の爲なり、戰闘を欲する  
に非ず。世に知者あり、軍備の身を  
危くするを恐れ、豫防注射を行ふ。病  
種により一律ならずと雖も、輕きは  
平常と等しく、重きは呻吟に至らず。  
患者は然らず。病魔を全うす。  
患者は然らず。病魔を全うす。一朝重  
に罹る、醫を延て藥を求め、北待

[illegible]

の戦争に勝利を占むべ  
るの利益を有し、今尙之を有し  
ある」と斷言したのであるが、  
この要は移して以て今日之を標題  
とせるのである。要するに英  
本諸和の提議に對しては強硬な  
態度に在るを知るであらう。

日報歌壇

京城、谷口つし  
冬來たる窓のガラスに糊をあてて  
たき朝の空を見ろかな  
一とすじの川の氷に凝したそがれ  
雪はつもりてはなるかな

傳田 北斗在

大 陸 婦 人 界

[illegible]

主張 ◆ 卷頭辭  
警務總長 古海  
陸軍中將 嚴潮

讀者三郎、婦人問題の解決に正誠  
合輿通信編輯局から送る啓事  
者三郎上東拓理事夫人との開啓  
有田一其他

◆ 嫌い調へ  
久保田  
富江

鳥の夢  
大評判記

安部 正料理と井  
磯雄 お月料理とか子

春小 井田絃聲

計以店管地各內洲隔開登錢五十四圓二角分半一銀四廿圓一五、號對分半千錢一稅對

國家政事は、海工業上の最大災厄なる如何なる戦役たりとも、其損失を蒙るべきに及ばざるべく、其戦期に及ばざれば甚きだけ、其禍根に遺つてこそ長からざるべし。従て平和回復すべしと云はるるの景氣は改善せらるべき筈に非ず。却て右の如き惨状を見るは、戦時經濟の現狀なり。尤も、海工業が戦争の爲めに意外の利益を得たるを以て、これに連れ、戦事業界に上流氣を呈し來り、兩子に乘じて諸株式が過度に騰貴

而して猶ほ日清料低當附の公債を未圖に發行し、我日本に就て六分一厘の借入の必要あり。其の傳を戰線に敷設すべき軌條を得る能はしして、加拿大鐵道一千哩の軌條を外して、之を輸送するといふがき未なり。其を換制度の前途にても、多少懸念するものなきにあらず。故に戦争を長引かすを以て世界の利益なりと爲すも亦短見たを免かれざるなり。然れども單に經濟上の利害得失を以てのみ御戰をする能はず。聯合國は其の開戰當の目的を達する爲めには、如何なる程度まで犠牲を拂ふべきや。億萬之を視ることを要すべ。

講和乎非乎  
議會に於ては戰氣激つたた  
其の内閣の方針は戦争に  
突然講和が提議された。面  
て英國の執るべき態度を  
氏は十九日下院に於て言  
議會に於ては激論を揮つた十九日  
國西の首相ブリアン氏が佛國土  
同じ問題を論じたのであつて、  
十九日に我が日本帝國政府は來  
使がガスリー氏を通じて獨逸の講  
條件に接したのである。

ロイド・ジョージ氏の演説は、(一)獨逸が獨逸せし各國領土を復舊せらるゝに非ざれば平和は不可能なること、(二)英國政府は希臘に於てツエネゼロス政府を援助し、強硬手段を取るべきことを可きや、(四)

相の講和觀

ロイド・ジョージ氏は初内閣を組織して從價的なりと處置するの失先きを以て英國の輿論が當然講和提議に對し小失つてある時に首相ロイド・ジョージ問題に關し大演說を試みた。英首相

以下外國人三八朝野代表二人にして亮夫難夫、約首三十人を使用せり

[illegible]

辭節にして意長く而して最も  
的に英國の對策方針を宣明して  
を見よ、曰く「白耳黨が其本性  
を露したるやゆる物、及び其れ  
十分に向復するまで、佛蘭西が  
威嚇に對して有効に保證せら  
るまで、歐洲小國の權利を侵犯  
せざる基礎の上に確立せらるま  
で、及び普魯西の軍國的支配權が全然  
の打擊を受けるまでは、輕々  
に援かれなかつた五  
人の劍は、斷じて鞘に納  
められぬのであらう」と  
、環首樞の今日宣明せらるる  
は、開戦當初より調停を主張した  
方針を同じく反覆して更に力説せ  
るのであることを而して昨年十

每  
 切  
 號  
 新  
 年  
 號  
 出  
 號  
 年  
 論  
 新  
 彩  
 奕  
 然

限閣倒れ寺閣  
 本來に活きる人石虎久彌  
 潮洲の野より 村田俊彦  
 案拓改革私案 板橋菊松  
 此の好景氣を如何に  
 銀行預金が儲券が未付銀紙原料  
 是に足らず 最も安全な投資  
 心同舎百千  
 日縮六頁光彩燦然  
 私の好きなもの嫌いなもの  
 購讀所  
 京成太平通二丁目  
 電話四二四〇  
 電話太平通二丁目  
 電話太通二四〇  
 京成太平通二丁目  
 電話四二四〇  
 電話太平通二丁目  
 電話太通二四〇

[illegible]

廿册一  
 9 仕に店番地各埠朝那支灣臺地内

東京 京城日報

講和問題と  
經濟界

東京府講和を提議してより以て、世界各國の經濟界に波瀾起、伏窮なむ。我國國本土の株式市場は之の間に、如何なる影響を受けるか。余は素來日本問題にて、滿日講和は、爲に關聯したる株式市場は、如何なる兆候を示したれども、米、政府當局者より講和の可能なることを

併ながら戦争が一部當り、  
興ふるとは、自ら限り、  
戦争の長引くことが、  
の經濟界に有利有益なりとは認  
証はす。特に今度の戦争にて利益  
收め得る期間も來自ら定まれる  
一定の期間を過ぎては、其利  
ある機會を生ずることなきを保  
するなり。今日の交戦者中、實力最  
強大なるものを英吉利と爲す。英  
利は歐洲戰地の外に其地歩を占め  
るの海上權を有す。其資本の豊富

鐵業の現況 (五)  
 山江里鑛山  
 江里金鑛山は忠清北道扶山郡有  
 鑛場向にあり鑛主は朝鮮金鑛  
 有社に屬す其年三十日  
 一箇年の鑛産額は金三十二萬四  
 十四兩八六此價格八萬一千零五  
 圓八十八錢込鑛百四十三噸四一此  
 價格三萬二千三百九十三圓零錢  
 六十萬三千四百五十二圓八十九  
 錢とす

[illegible][illegible]

知なる後、遂に其の手に、始めて、軍事を、  
 せむべし。  
 イド、ジョージ氏は消く、數千言、  
 述べたる、後、終に於て、何人も平、  
 然らず、然れども其不平、和たらず、  
 あるべきものなる可らず」と叫んで居る。  
 決心實に聽者の肺腑を衝くもの、  
 同時に又其深甚の意義は明瞭、  
 之を判斷了解することが出、  
 英國氏は其相の演説に對して、  
 満足の意味を表して居る。  
 對戰方針は一貫す、  
 其の意見は講和提議に對して斯くの如く、  
 其の意見は宣明したのであるが、  
 對する英國の態度は今日に、  
 始めて決定したのでは無い、實、  
 英國が戦争に参加したる目的、その、  
 英國の執るべき態度を明確に、  
 して居るのである、開戰第一年、  
 月倫敦市長の宴席に於て、前、  
 アストリス氏は寄したる、意、

新るた々堂姿雄よ見(嘯々好評)

# 公鮮朝

風雨 近

年々實行した  
 十島實業界の鮮露  
 新問題  
 長谷川總督(注文)  
 世植民の一大眼目  
 新生活の新機運  
 第三十八議  
 十島の實業家に此  
 實業家  
 大正六年  
 八間の志操  
 各道長官

貿易の研究

三郎、石原、奥野、品子、柳川、春葉、小栗、他内外、海外、實業家、官吏、文士、學者、名士、新聞記者、貿易と戦後の動向（中村光也）

五千萬圓の富を増す牛蹄

兩脚に於ける郵政と文藝（中村光也）

鑛業界

石原川上村田宮前四家の時事觀

中野の神經衰弱

兩黨の結束果して

晉

如何に大勢既

の意義と兩黨の歸納

人事を要望

武官宮中席次と年齢

初對面印象記

抱負を述ぶ

美濃郡俊吉論

高瀬梅吉論

家七個條の希望

此の重大事

錢一冊一說尋 錢十八國二冊二十 錢五十四國一錢冊六 錢廿廿冊一



●講和交渉と國際同盟

○定例閣議内容

以下各大臣出席本野相より

○外交官異動表

大使館二等書記官 鈴木 榮  
大使館一等書記官(三等)  
大使館二等書記官 佐分利 貞

政會にては二十五日午後本部に

幹事長より開會の辭を述べ藤澤

の爲め我黨の爲め充分の努力を

は院内事務に一任する事に決し

聯合調査會を開き公憤政策を編

### ◎三線貸率發表

印綿禁輸と當司

**虎號店**

平治 八〇〇  
 萬成泰外 八五〇  
 二五

**虎號店**

平治 八〇〇  
 萬成泰外 八五〇  
 二五

**虎號店**

平治 八〇〇  
 萬成泰外 八五〇  
 二五

虎號店

平治 八〇〇  
 萬成泰外 八五〇  
 二五

虎號店

平治 八〇〇  
 萬成泰外 八五〇  
 二五

虎號店

平治 八〇〇  
 萬成泰外 八五〇  
 二五



送り賜はれミツルペン氏より鳥居龍藏氏  
聖誕祭に思出深き乙密臺の殉難譚

朝午晩の鐘の音  
は如何にも詩的な響きである、ミレ  
から致へをうけたんで殉教者はまた  
ブルボン王家から出たツルベン氏の  
家から里の岬岬女を人妻にせられ

を慕いて神にお祈を捧げる  
る、しかも全世界の者が  
これに此の種のはなしは日本の  
しにも澤山あつたのである、我  
皇天正以後の

一人であるがあの  
**■金色癡然たる祭壇**  
 信徒と云ひまたは九州の長崎附近の  
 殉教者と云ひ何れも悦むで凡の下に  
 居れてゐる、殊にその刑をうくるに

大將を思ひ出したの  
 此のてゐは歐羅巴人にも餘  
 彼等の爲めに恵ませ給へて新  
 るのはむかしの基督をのましの  
 生に座して靜かに小西、浮

思ふ、私は此の秋帝劇で「細川忠興  
 の妻」を観たが、當時忠興の  
 されたことは非常なものであつたこ  
 とにして、天主敎の道つてゐる長崎附  
 近に  
 世界せかいの奇蹟きせきの一つ

ふものは天主教によつて南歐の文化に負ふところが有名であるがサビエはチエジツト派の傑い男で當時大阪に著

——それは、大名の基督教キリスト教と稱する  
 本ほんによいかいてある、横山よこやまの文化ぶんかが  
 本ほんによくかいてある、横山よこやまの文化ぶんかが

●

乾隆御物けんれんぎぶつ

管と陣羽織と  
 百年後の事である國亡びて未だ  
 年を経ない時に在つては山河在  
 眺よりも先づ人を悲しまなければ

れたならば福して藩閥の奥方が顕居  
ひを爲ると云ふやうな消極的の生活

送つて呉れるやうに依頼  
だ、これは

◆古美術品の買収を行  
居りますが北京に居る日本の骨  
人などは餘りに我利一服張りの

ゴアの總督に書き送つてゐる  
 薩長次第で日本の天皇、天正の時、  
 たりとツク教とに餘程深き關係の  
 たものとて吾々が  
 露西亞のレナヌス以前のこゝ  
 にもカトリック教の儀式は固  
 と思ふ、二十四日のボンノエル  
 になつたに云ひなかつた云ひ知れぬ  
 外國の小説にある懺悔の如き  
 主權の教へであつて日本など  
 の末まで其の罪を惡む思想と  
 上異ふやうであるから古い歐  
 歴史を知らうとするにはカトリ  
 西太后より張之洞に  
 人々  
 夢如  
 康  
 自  
 其の土地、  
 居る頃  
 其の土地、  
 居る頃  
 其の土地、  
 居る頃

十三日鎮海臨時建築支部重

龍(ニ)丁(ニ)甲(ニ)伊(ニ)金(ニ)學(ニ)道(ニ)の六名  
生埋なまうみとなりたるより之を見たる他の

必定落命せしならんと危む  
生命を取留め他は何れも

七尺餘の大虎

何れも獲物を執りて現境  
 上げたれば茲に數名の鮮人

偏緊如鏡

而

◆劉石庵は康熙帝の宰相として單に歴史上に有名であるばかり

門の邸に訪問する事が能  
倪氏は非常の

見を戦はす間に主人と百年の友の如  
 うに親しくなりまして其の收藏して  
 而

一番に 私の目を惹  
釘の破れた一冊で見た見  
る事と可んども移

縛り上げて嚇す

○如く而も斃死後多くの時間を  
を事確めたれば直に村に廻ひ  
て處分したるが成は三十五圓に  
たりて

○千圓を詐取す  
西大門金平植(と同町浦邊)と  
の兩名は龍山山手町龍雲館の所  
江原道江原府江原郡善善所在  
の江原道江原府江原郡善善所  
を兩名に於て賣收したりと稱  
が文券を作製して本年舊十一月  
百五十町一日自李當に買賣契約  
を以て金一千圓を詐取したるこ  
空し兩名は鐵路署に檢査する

○消防の出初式  
來る一月四日午前十一時  
より警務總監警務局内にて  
府内常備消防隊の消防隊出初式  
の廣場に於て昨年の如く舉行  
に決定せり當日は京義道警  
常備消防隊及び京城消防隊主  
任主任巡查消防組は所轄消防  
隊及び下士を率ゐて集合し  
の奥に拉山殿足町の各が聚し  
をの

○私が恍惚と眺めて居る  
滿足らし此の書寫爲を鑑  
して呉れるこの事であつた私  
書の神祕感湧として鑑かに凡  
の寶品を解た 視鏡の眞實  
きを斷言しました主人も非  
んで私の書居るを屢々訪づ  
ました使民は却ての消滅され  
して容易に

○時事を談し消溺の終焉  
云甲斐ないのを欺くのでした  
は一事の身であるが保民  
論を聞いても別段感はしな  
敵は本能寺の神社の書に在  
ので應々保民を訪ひましたが  
亦輕視する所の書であるから  
に容易に

○賣り渡しして貰ひ戻いとも  
居つたのですが漸々劉氏の

あり而して梯子乗救助幕使  
使用救助梯子使用假設火災  
順序にて演習の後訓示並び

長四方用衆太師氏令願者校子一三三の葬儀は二  
十六日午後四時より若草町洞洞宗別院に於て督  
古本

天活會社專屬  
大歌舞伎

▲年末に小泥棒が  
流子流子もの

たものだが年末の  
かぎつてまた減多に捕かま  
しい▲精々戸じまりでも氣

被害が多くあるなどは感心出来ない  
 ▲それは家の建て方が内地人の  
 け放なしなのと老人や小供の  
 家は

編

可し▲今年(こんねん)は補助貨不足(じょくぶく)の成績(せいせき)に影響(えいきやう)があるだ

媒介で手に入れる事を得ました一方  
又劉氏の親戚に當る或青年の紹介で  
賣

之無妍醜也、因善惡而施褒  
不期公而自公爾』との宋

見ますと  
◆康熙帝の金印が捺して有

癒せる程の苦心を致しま  
氏は西太后の殊寵を受け

**日案内**

前金 十銭	番外 一圓前金 五銭無引	月收の御方へ振替用便 宜立替帳報向又郵便代 三の三(柄澤町)起木屋	普通 入用 八用 成より十八歳まで 三飯通 玉川寫眞館	野村 買入証書 實利報參上 野村書店	明治町筋電二六三六	大満櫻味噌 すまは 目下下部號 わたは 目下下部號 食料珍品 淨山有之候	品は 目下下部號 漬は 目下下部號 本町 目下電話二二番	漬は 目下下部號 鮮魚は 目下下部號 幸子濱山山菜漬すこ子漬	京極不用 浄園高麗買入 取次電話二五四〇	ヒコセ	農工銀行様券 本月中 外 京城支那領事館通 清韓洋行	確實にして親切 小石路 片山質舖	醇良酒 即賣價 田中酒造場	設備完全 取扱丁寧 秘密厳守 御報參上 電話二九六 大塚質店	砲火藥 獵具 增戸銃砲店	本會の目的 靴取 壹組の金額 貳萬 貨殖の捷徑 店調査編輯
----------	--------------------	---	---	--------------------------	-----------	---	------------------------------------	--------------------------------------	-------------------------	-----	----------------------------------	---------------------	------------------	--------------------------------------	-----------------	--

酒清等優

目丁二町樂永城京

元賣發

店酒莊本

番四五六話電  
番〇二六城京舊

並に日歩取 ▲壹口の加盟 金五百圓  
圓(四口) ▲利益配當 金五百圓  
は株式買同盟官の趣旨を普及  
て一般精取 日歩取の均等を圖  
が爲めに總算發行せるものに  
株式取引の裏面を穿てり  
五十餘遠東四錢是非乞一讀

同盟會々則進呈

淀屋商店株式部

電話本局三一三四番  
振替口座大阪二八四番



「はい……誠に我儘な様のお願ひとは存じますが……」

「成程、其方のやうな内氣な世間知らずの女としては、火勝に無理からん願ひぢや。乃公もそのしほらしい志に免じて、早速承知して送りたう思ふぢやて。」

「御前様、それではあの、美の我儘な様のお願ひをお許し遊ばして下さるんで御座いまするか？」

「親代は、もうお許しの出たやうな氣になつて、そは／＼しくも愁の眉根を開いたのである。」

「いよ、待てよ、親代、其處が、お前の小兒らしい所ぢや。乃公も、お前の願ひを許して送りたう思ふのは山々ぢやがの。」

「親代は、故意に自來かすやうな口振で、擧ぐ言ひながら、胡亂の辭を少し崩して、山々で、燃發するのは、知れきつた謂ひやの。お前の意志では、緩し、そんな筋はなうても、遇ひたい／＼なうて居つた青春の男と女だが、ま然うした事柄の下に相遇うたと思へたらば、火が、火藥を呼び、火藥が少くもを呼んで燃發するのは、こりや天曉の道理ぢや。それも好い……」

「それとも、先づ證なき事と爲てもぢや。外へ出して今時の親代では無うなつて了はるは勿論、雙も肉も二つながら、泥に塗れた醜態の野蠻ぢや。その野蠻が、何れほど美しい自然を有つてゐたらとて、此の眞則が居室の床の間に活けて眺むる辭には行かん」と云ふものは、折角の親代、乃公は、お前の情に遇と、その女らしい柔順い心根には……」

**九くむくゝ**と肥つたお仙の方が出て来た。

「おう、仙か、生憎の雨でやお前等には氣の毒ぢや。酒が無うなつたら、代りの酔を持つて来て呉れ。」斯う諭じ了つて、男爵は不圖何心なく組代の方に腰を移されたが、恰度その一刹那である。忽に洗ひまき云へ、今まで左したる状態のありさうにも見受けられなかつた組代が、突然ざり／＼と奥歯を軌らせながら弓のやうに腕を反らしかけたが、呀」と叫ぶ一聲の悲鳴諸共、忽ち夜具の上へ仰面さまに絶倒したのである。

**新聞開業の大塚實店**

大塚町明治街二丁目豊新屋五家申より、大塚町正月廿上旬開設されしが同店舗建造及び完全なる倉庫を完備し、又物品の運入は勿論電報線の終末たる所にて顧客便好する爲に、版紙至極軽微乃至一般の須け好しの評判なり。

**日本の命案**

人同士なら日本文で通用する筈だ往年乃木大将が英國から露西亞を通じて歸られた時でも汽車が露西亞の國境を越けるとの署名が露西亞語のみで書いてあるのであつた感心せられたそうだが英語を勉強するのは結構だが日本には日本固有のもの立派な國語のある事を忘れてはならない  
○閣下主士▲明年京城長壽院間に乗合自動車通轉せられて便利を感ぜしむが道路破損とかに依轉せる何とか一日復舊して再び度し(丹)●廿三日夜路路發六十六號電車に乗つた客が一値紙幣を出して賃金を拂ふとしたら刺殺がないとかで車掌が下車を強請した客は此雨の降る晩に荒山の終點迄這歸る者が利殺が無くて電車に乗せて通用する筈だ往年乃木大将が英國から露西亞を通じて歸られた時も汽車が露西亞の國境を越るとの署名が露西亞語のみで書いてあるのであつた感心せられたそうだが英語を勉強するのは結構だが日本には日本固有のもの立派な國語のある事を忘れてはならない  
○閣下主士▲明年京城長壽院間に乗合自動車通轉せられて便利を感ぜしむが道路破損とかに依轉せる何とか一日復舊して再び度し(丹)●廿三日夜路路發六十六號電車に乗つた客が一値紙幣を出して賃金を拂ふとしたら刺殺がないとかで車掌が下車を強請した客は此雨の降る晩に荒山の終點迄這歸る者が利殺が無くて電車に乗せて通用する筈だ往年乃木大将が英國から露西亞を通じて歸られた時も汽車が露西亞の國境を越るとの署名が露西亞語のみで書いてあるのであつた感心せられたそうだが英語を勉強するのは結構だが日本には日本固有のもの立派な國語のある事を忘れてはならない

[illegible]

當月の支拂は左の通り相定め申候也

社告


十二月三十日 午前十時より  
午後四時まで

十二月二十四日

京城日報社

ミツワ石  
 ミツワ椿  
 ミツワ家  
 ツワ家庭  
 肝油ドロ  
 御園化粧  
 品

發賣元



丸見屋商店

東京市日本橋區橘町四丁目  
 藥劑、發賣品、石鹼、香粧品、小荷物問屋

馬場路號〇ミヤ、振發貯金口座東京七一〇番  
 電話營業部附設三〇四四八、四四九、四五〇番

ヴァキオレット (すみれ)  
ロリー (はちまき)  
リリ (ゆり)  
ムゲツ (花の名)  
ミモサ (花の名)  
ブーケ (花たば)

●三百番香水は優雅な香で、長い時間香を保つて居ります。  
●香は人によりまして、嗜好を異にして居りますから、先づ三百番として六種の香を異にするものを發賣いたしました。更に追々種類を殖やさうと云ふ計畫であります。  
●香水は折角高價を拂つて求めても、その香が嗜好に合はない場合が多い。三百番香水は一種毎に小瓶の見本を添へてありますから、お嗜好に合ふものをお召しになる便利があります。  
●普通香水は容器的體裁を飾る爲に餘計に高價なものになる弊がありますが、三百番香水は正味のみを目的として居りますから、自然價格も無類の低廉なものになつて居ります。



熟した椿の實の皮膜を去り、冷壓法を以て搾取したる毛髪の衛生に適し、色艶を麗しくする、純良なる椿油

みつわ。つばきあぶら

# ミツワ椿油

價 定

小樽入	定價	金二十錢
中樽	五两入	金三十錢
大樽	一合入	金五十五錢
罐入	五两入	金四十五錢

毛髪には何故椿油が宜いから？  
 と謂ふと、純正な椿油は不乾性油と云つて、腐蝕の性質を失はず、滲込み力が強く、總販する愛ひがなく、厭ふべき臭氣を發しないからである。

椿油にも不完全なものが多い

然し椿油と稱しても、完全に椿油の特色を發揮するものは先づ無いと云つて宜い位で、或は非度く酸化して居たり、或は色を濁くする爲に白絞（種油）を交たり、粘土、日光、アルカリ等で處理して一見純粹の椿油と違はぬやうでも其の性質は變つてゐるものが多いのである。

みつわ。つばきあぶら

# ミツワ椿油

は製造法を改良して、冷壓法で強力なる水壓機を用ひ、少しも熱を加へずに搾取した新鮮純良な椿油で不変此ミツワ椿油を使つてゐると毛髪に滲込み力が強いから、

毛髪の發育を助け  
 且つ艶且つ色艶を麗はしくし、毛髪と空氣で接觸することなく、從つて空氣が毛髪に及ぼす結果、漂白と云つて、毛髪の色素が段々に薄く、赤毛や白毛に早く成り易い憂を除き、凝つたり臭氣を發する等のことも無く、何時も艶々しと潤澤色で、髪毛、指毛などの憂に決つてないものである。

贅澤で、經濟で、而して最も優良な

さんびやくばんかうすゐ

# 三百番香水

價 定

小樽入	定價	金五十錢
中樽	五两入	金五十五錢
大樽	一合入	金五十五錢
罐入	五两入	金四十五錢

種類

[illegible]